

所属 建築学部		職名 講師	氏名 VECCHI Pietro	学位 博士	兼任している研究科 無し
研究分野 建築学およびその関連分野			研究分野のキーワード 建築計画および都市計画関連、建築史および意匠関連		
学歴					
2017年03月	Sapienza Università di Roma 建築学部及び修士一貫, 修了				
2018年04月	名古屋YWCA学院日本語学校, 入学				
2018年10月	名古屋YWCA学院日本語学校, 終了				
2019年01月	南山大学外国人留学生別科, 入学				
2019年01月	名古屋市立大学芸術工学研究科, 建築都市学, 研究員				
2019年05月	南山大学外国人留学生別科, 終了				
2019年10月	名古屋市立大学芸術工学研究科, 建築都市学, 外国人研究生, 入学				
2020年03月	名古屋市立大学芸術工学研究科, 建築都市学, 外国人研究生, 終了				
2020年04月	名古屋市立大学芸術工学研究科, 建築都市学, 博士後期課程, 入学				
2023年09月	名古屋市立大学芸術工学研究科, 建築都市学, 博士後期課程, 修了				
職歴					
2018年07月	Wanderlust建築設計事務所, デザイナー, 開始				
2022年03月	近畿大学工業高等専門学校, 非常勤教員, 任用				
2022年03月	日本福祉大学経済学部, 非常勤教員, 任用				
2023年10月	ローマ教皇庁管財局 (A.P.S.A.), 建築デザイン、ファシリテーター, 開始				
2024年02月	日本福祉大学経済学部, 非常勤教員, 任用満了				
2024年03月	Wanderlust建築設計事務所, デザイナー, 終了				
2024年03月	近畿大学工業高等専門学校, 非常勤教員, 任用満了				
2024年04月	愛知淑徳大学創造表現学部, 講師, 任用				
2025年04月	愛知淑徳大学建築学部, 講師, 任用				
研究活動					
著書(CD・DVD等を含む)・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当箇所・該当頁数
著書(CD・DVD等を含む)					
Conservation and Architectural Heritage: Voices from the World	共著	2024年07月	Sapienza Università Editrice	Simona SALVO	267頁～304頁
学術論文					
Japanese university campuses as dialoguing enclaves: six examples	共著	2021年10月	EN BLANCO. Revista de Arquitectura 13 31	Pietro VECCHI・鈴木賢一	122頁～129頁
戦後日本における大学キャンパスの地理的条件の推移に関する研究: 大学発展史との関連性	共著	2022年07月	日本建築学会 日本建築学会大会学術講演梗概集, 都市計画 2022.07	VECCHI Pietro・鈴木賢一	567頁～578頁
A study on hillside university campus planning in Japan. Campus location historical trend and open spaces planning methods for different ranges of site grade from a national survey	共著	2022年10月	日本建築学会計画系論文集 87 800	Pietro VECCHI・鈴木賢一	1868頁～1878頁
ラテン・アメリカ諸国における学校建築計画の探求: 農村部・都市部校舎の空間構成とその利用に関する研究報告	単著	2026年02月	愛知淑徳大学 愛知淑徳大学論集建築学部篇 1 1	Pietro VECCHI	0頁～0頁
学会発表					
La conservazione dell ' architettura	共同発表	2022年09月	Symposium: La città		

universitaria moderna in Giappone: il caso del campus della Nanzan University			universitaria di Roma diventa patrimonio architettonico: Ricerche sulla Scuola di Matematica di Gio Ponti al confronto con casi di studio italiani e stranieri(Sapienza University, Rome, イタリア)		
Il rapporto fra città e studenti universitari nel Giappone del Dopoguerra: l ' architettura e i suoi contesti	単独発表	2024年09月	Associazione Italiana di Storia Urbana, forum "CITTÀ E STUDENTI. La residenza universitaria: cultura, spazi, eredità"(Ancona, Urbino (Italy, remote participation))		
戦後日本の大学キャンパスの特徴に関する研究	単独発表	2025年10月	日本建築学会東海支部設計計画委員会(愛知県・日本建築学会東海支部会議室)		
作品・制作等					
駐日ローマ教皇庁大使館新築設計 コンセプト・デザイン	単独	2024年04月	駐日ローマ教皇庁大使館、A mministrazione Patrimonio della Sede Apostolica		敷地調査、コンセプト・デザイン、基本実施設計コンペの審査員
駐日ローマ教皇庁大使館新築設計 ファシリテーター	共同	2025年10月	駐日ローマ教皇庁大使館、A mministrazione Patrimonio della Sede Apostolica	乃村工藝社、Atelier Morf、菊池建設、駐日ローマ教皇庁大使館	基本実施設計を行うためのファシリテーター、通訳、オブジェの設計、コンサルティング
駐日ローマ教皇庁大使館新築設計 インテリア・ファサードデザイン	共同	2026年02月	駐日ローマ教皇庁大使館	乃村工藝社	家具配置計画、ファサードの装飾のデザイン
その他業績					
A study on the peculiarities of university campuses in Postwar Japan: Spatial configuration and community responding to university massification	単独	2023年09月	名古屋市立大学大学院芸術工学研究科，学位論文		全部
国際ジャーナルSpringer Architecture, Structures and Construcionの特集でのゲスト編集者	共同	2024年03月	Springer Architecture, Structures and Construcion. "Collection: Heritage in Transformation: A Multidisciplinary Approach to Cultural Heritage in a Changing World"	Pasquale CUCCO・Pietro VECCHI・Rolando VOLZONE	ゲスト編集者、査読者との連絡と投稿決定、4件の論文を担当
国際講演会「戦後建築の傑作を救う・イタリアからの経験」のオーガニゼーション	共同	2026年02月	愛知淑徳大学建築学部	Pasquale CUCCO・Simona SALVO	講演会実施オーガニゼーション、通訳（未完了）
学会等における主な活動					
受賞					
2023年02月20日	2023年度日本建築学会東海賞，論文賞			学術論文「A study on hillside university campus planning in Japan. Campus location historical trend and open spaces planning methods for different ranges of site grade from a national survey」が認められた。	
所属学会					
2019年06月～現在	日本建築学会			2024年04月～現在 新たな都市の価値実体化委員会委員	
2025年04月～現在	日本建築学会東海支部設計計画委員会				
2026年04月～現在	日本建築学会東海支部歴史意匠委員会				
社会活動					
2021年01月01日～現在	Tonalestate Summer University（国際文化平和フォーラム），イタリア・バツソ・デル・トナーレ，準備委員会委員				
2023年10月01日～現在	ローマ教皇庁管財局（Amministrazione Patrimonio della Sede Apostolica）により専門職割り当て。駐日ローマ教皇庁大使館（東京都千代田区）新築設計のための敷地調査、コンセプト・デザイン、基本・実施設計ファシリテーター、通訳者、コンサルティング。				
2025年03月20日～現在	メキシコ・シティ・Instituto Científico Técnico y Educativo大学インテリアデザイン学科でボランティア教員（オンライン）				
教育活動					

教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)			
南半球の学校建築に関する教育研究活動と「世界の学校展」		2024年06月01日 ～ 2024年10月28日	対象授業：建築・インテリアデザイン演習 a。 活動テーマ：イタリア、フランス、エルサルバドル、グアテマラ、フィリピンとコンゴ民主共和国の小・中・高等学校での生活と校舎建築の関連性。 研究方法：生徒へアンケートを多国語に翻訳して実施。現地での教育活動・校舎建設に携わっている経験者のゲスト講義。 学習成果の可視化：10月27 - 28日愛知淑徳大学の淑楓祭において成果物の展示会を行い、学生が自ら展示スペースをデザインし施工した。これに伴い、エルサルバドルの児童のために教育支援を行うNGOのためのチャリティバザーを実施した。
ラテン・アメリカの学校建築に関する教育研究活動と「中南米の学校建築展」		2025年06月01日 ～ 2025年11月02日	対象授業：建築・インテリアデザイン演習 a。 活動テーマ：メキシコ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、アルゼンチン、ブラジルの小・中・高等学校での生活と校舎建築の関連性。 研究方法：教員へアンケートを多国語に翻訳して実施。現地での教育活動・校舎建設に携わっている経験者のゲスト講義。「校舎プロフィール」パネルや模型を作成。 学習成果の可視化：11月1 - 2日愛知淑徳大学の淑楓祭において成果物の展示会を行い、学生が自ら展示スペースをデザインし施工した。これに伴い、エルサルバドルの児童のために教育支援を行うNGOのためのチャリティバザーを実施した。また、建築学部論文集に論文『ラテン・アメリカ諸国における学校建築計画の探求：農村部・都市部校舎の空間構成とその利用に関する研究報告』を投稿した。
「知恵の屋台」プロジェクト		2026年04月18日 ～ 現在	ヴェッキ・ゼミと創造表現学部創作専攻の松田ゼミの共同プロジェクトとして、長久手キャンパスを循環する古本リサイクルの屋台を造る。 実施計画： 2026.04～2026.05 長久手キャンパスの管材事務室と学生事務室との相談の上、基本計画 2026.05～2026.10 屋台の設計と施工 2026.11 淑楓祭にて「知恵の屋台」を紹介 2026.11～ 活動開始。 「古本リサイクル」、「ミステリーブック」、「毎週のおみくじ」、「学生作品紹介」など、様々な「コーナー」を備えた家具であり、週ごとにキャンパス内に位置を変える。 読書への愛着、学部間の交流、キャンパス内の利用されていない場所の再生を図るプロジェクトである。
2 作成した教科書、教材、参考書			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
4 その他教育活動上特記すべき事項			
5 大学運営			
Ⅴ 資格・免許、特許等			
資格・免許			
2017年10月20日	Architetto “ Sez. A ”	イタリア専門技 能国家試験・一級建築士資格 登録番 号：2016336115/M604	
2018年03月23日	普通自動車第一運転免許	イタリアの 運転免許切替	
2019年12月01日	日本語能力試験 N2レベル		
特許等			